

2023年4月28日

各位

カーリットホールディングス株式会社

リスクマップ見直しについてのお知らせ

当社は、プライム市場上場企業として、各事業を取り巻く様々なリスク事象に対し、その影響度および発生可能性を低減する対策を適切に講じることで、事業の継続や経営への影響を最小限に留めるよう努めております。当社事業等のリスクについては、有価証券報告書や決算短信にてご報告させていただいております。

この度、2022年度を振り返り、重要リスクやリスクマップについてのワークショップをグループリスクマネジメント委員会および取締役会にて行いましたので、その結果をお知らせいたします。

1. 背景

リスクマップはリスクアセスメントの結果に応じて毎年改定しております。2022年度における内外環境変化を勘案し、当社グループが認識している重要リスクを再設定いたしました。

2. 新旧リスクマップ、重要リスクの概要

次項参照。なお、6月リリースの有価証券報告書にも事業等のリスクについて記載いたしますので、あわせてご覧ください。

3. 「リスクマネジメント体制」ページへの掲載

下記「リスクマネジメント体制」のページには、当社のリスクマネジメントやアセスメント活動の詳細が掲載されております。ぜひこちらもご覧ください。

なお、今回改定したリスクマップや重要リスクの概要については、5月末頃の更新を予定しております。

https://www.carlithd.co.jp/csr/about/risk_management.html

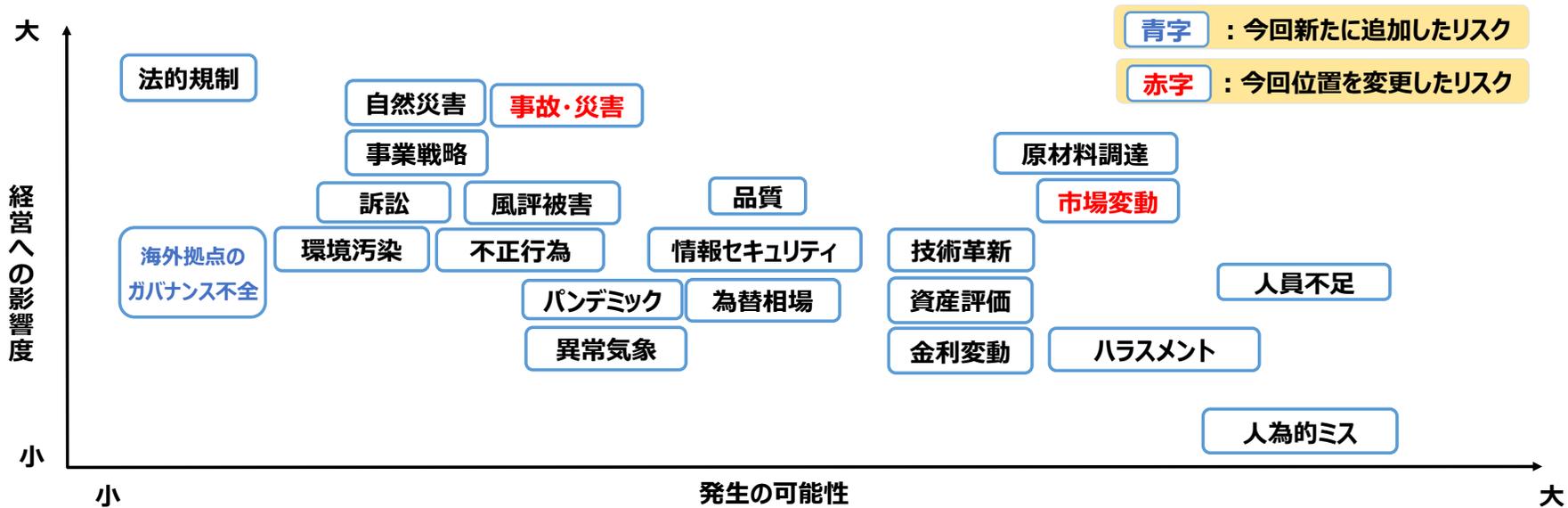
【本件に関するお問い合わせ先】

カーリットホールディングス株式会社 広報・サステナビリティ推進室

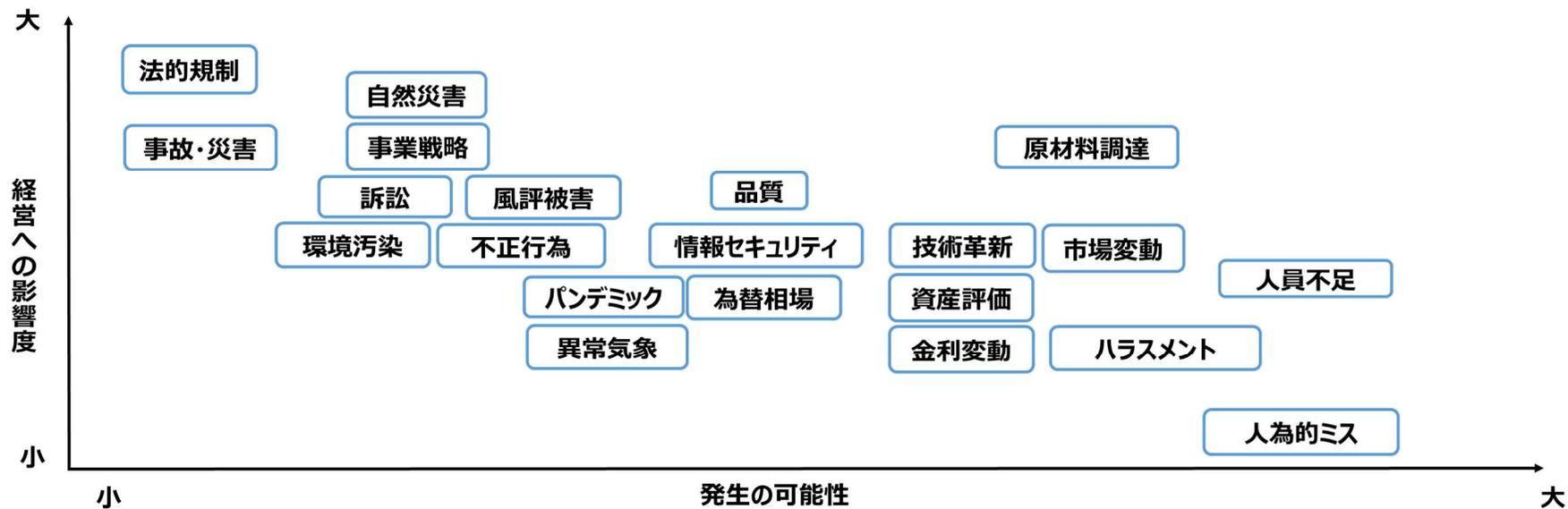
TEL : (03) 6893-7060 Mail : pr@carlit.co.jp

以上

新規リスクマップ案



現行リスクマップ



カーリットグループにおける重要リスクの概要

リスク項目	概要
技術革新	電子材料製品、機能性材料製品、シリコンウェーハ製品等において、技術革新により既存製品が陳腐化するリスク
市場動向変動	市場動向変動はグループ全体に影響を与える可能性があるが、中でもポトリング事業において、取引先の販売戦略、及び天候等の状況変化により、需要が変化するリスク
原材料調達	原材料について、安定調達が妨げられることにより、顧客への供給に支障をきたすリスク、及び原材料、燃料価格等の変動により、業績及び財務状況に影響を及ぼすリスク
為替相場変動	円安変動により、輸入原材料が高騰するリスク 電子材料製品、機能性材料製品、シリコンウェーハ製品等について、円高変動により輸出製品の価格競争力が低下するリスク
事故・災害	危険物を取り扱う工場での大規模な事故・災害による、設備及び人的資源への損害リスクや、事業活動の中断等が発生するリスク。

リスク項目	概要
資産評価変動	・固定資産に対する回収可能額が帳簿価額を下回ることにより、財務状況が悪化するリスク ・景気変動などにより、保有有価証券等の価値が大幅に下落するリスク
パンデミック	・当社グループで人流変化による影響が大きいポトリング事業において、外出制限等により財務状況が悪化するリスク ・従業員において感染者が発生することにより、事業活動に支障をきたすリスク
自然災害	地震、津波、台風、大雨などによる、生産設備、人的資源への損害リスク、及び顧客の需要動向変化のリスク
情報セキュリティ	外部からの攻撃や、内部的過失等により、情報漏洩や、破壊、改ざんまたは情報システムの停止が発生するリスク

リスク項目	概要
法的規制	法的規制が強まることにより、一部の原材料が使用禁止になる等、対象製品の製造・販売に支障が生じるリスク。
訴訟	事業活動及び知的財産権について、訴訟等、法的手続きの対象になることによる、財務状況悪化リスクや、当社の信用低下が発生するリスク
海外拠点のガバナンス不全	海外拠点のガバナンス不備により、法令違反等の不正が発生し、企業の信用が低下するリスク
金利変動	金利の上昇により財務状況が悪化するリスク
品質	製品の欠陥、品質問題による、当社の信用低下リスクや、代替製品の調達過程における追加費用が発生するリスク。